

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果報告書

平成25年 5月 27日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2011～2012

課題番号：23720093

研究課題名（和文） メイエルホリドの「新しい演劇」の探究における「越境」の問題

研究課題名（英文） “Transborder” in V. E. Meyerhold’s the “New” Theatre

研究代表者

上田 洋子（UEDA YOKO）

早稲田大学・演劇博物館・招聘研究員

研究者番号：40505400

研究成果の概要（和文）：本研究では、20世紀ロシアの演出家フセヴォロド・メイエルホリドの演劇における、文化とジャンルの「越境」のあり方を明らかにすることを試みた。平成23年度はこのテーマを、美術と演劇の交差、日本伝統演劇の越境、現代演劇におけるメイエルホリドの方法論の利用について調査し、学会発表および論文でこれを明らかにした。平成24年度は、メイエルホリドが活躍した時代における「越境」の問題を改めて考えるため、日露文化が交錯した満洲における演劇の問題、また文学における演劇の描写の問題について、調査・検討を行なった。

研究成果の概要（英文）：In this study I tried to clarify the aspects of cultural and genre “transborder” in works of 20th century Russian theatre director Vsevolod Meyerhold. In 2011 I researched the moments of a) intersection between genres (the art critic on Meyerhold theatre), b) intercultural exchange (Japanese traditional theatre in Russian theatre culture), c) overlap beyond the time (Meyerhold’s methods in contemporary theatre). In 2012, to clarify the “transborder” situation in first half of the 20th century, I focused my study on two problems - a) problem of the theatre arts in Manchuria where Japanese and Russian culture intersected, b) problem of the description of theatre culture in literature.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
交付決定額	2,000,000	600,000	2,600,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：演劇学・ロシア演劇・異文化理解・ロシア文学

1. 研究開始当初の背景

ソヴィエト連邦崩壊後、新しい資料が次々に公開され、ロシア・アヴァンギャルド研究はますます成果を上げつつある。日本でも文学、映画、美術などの分野の研究が進められているが、作品がそのまま残されているわけではない演劇の分野はいささか遅れをとっている感がある。例えばメイエルホリドの演劇は日本でも同時代にいち早く紹介がなされ（たとえば1928年の露西亜文学研究会による『メイエルホリド研究』）、重要視されてき

たものの、まとまった研究成果があまり発表されてこなかった。ロシアでは1998年より大部の選集が刊行中で、さらに演出記録（1993）や講義録（2001）など個別の出版も多い。こうした研究の活況は同時期の舞台芸術全般に当てはまる。ソ連崩壊後20年が経とうとしている今、われわれもロシア・アヴァンギャルド演劇の状況を客観的に再評価することは、その影響下にあった同時代の日本演劇の再評価にもつながっていくはずである。

本研究の代表者はこれまで、2009-2010 年度文部科学省科学研究費補助金(若手B)「シギズムンド・クルジジャノフスキイと演劇:ロシア・アヴァンギャルドと世界劇場」(研究代表者)、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 2009 年度公募研究「演劇の理論と実践、その現代における応用 1 —メイエルホリドの場合」(研究代表者)、同じく 2010 年度公募研究「メイエルホリドと越境の 20 世紀」(研究代表者)などの公的資金による研究で、海外のアーカイブにおける調査と早稲田大学演劇博物館の未整理ロシア語資料の調査を並行して行ってきた。2010 年 3~4 月、その成果として同博物館にて開催した「メイエルホリドの演劇と生涯」展には 5200 名以上の来場者があり、作成した図録とともに高い評価を受けた。

2. 研究の目的

メイエルホリド及びロシア・アヴァンギャルド演劇における〈空間〉と〈ジャンル〉の越境の問題を解明することが本研究の目的である。すなわち

(1) 早稲田大学演劇博物館資料調査により判明した、メイエルホリド演劇と日本演劇の相互関係というテーマが、まだまだ研究の余地を残しているという問題(文化の空的越境)。

(2) 申請者のこれまでの研究(博士論文「シギズムンド・クルジジャノフスキイ研究」など)の文脈につながる、メイエルホリドの「新しい演劇」探究が、同時代の美術(のちには映画などの視覚芸術全般)の探究に負っている部分が少なからずあるという問題(ジャンル間の越境)。

の二つの越境であるが、本研究ではこの二つのテーマの交点を模索していくことになる

3. 研究の方法

研究方法として、これまでの研究状況と今後の展望を鑑み、当初以下①から⑥の6つのテーマを設定していた。

(1)

- ① ロシア・アヴァンギャルド演劇と歌舞伎
- ② 鈴木忠志とメイエルホリド
- ③ 日本近代演劇によるロシア舞台美術の援用

(2)

- ④ メイエルホリドの演出法における視覚芸術の手法(タラブーキンのコンポジション論とメイエルホリドの講義録を中心に)
- ⑤ 革命を転換点とする美的モードの変化 —メイエルホリドとタイロフを比較しながら
- ⑥ ペトログラードの演劇スタジオでの活動の革命後の演劇・美術への広がり

当初はこのうち、a, b, d, e を本研究課題の範囲内としていた。しかし、研究機関での展示予定が変更となったため、b に関する研究は今回の研究の範囲内では行わないこととした。また、平成 24 年度の研究では、演劇の「越境」について、メイエルホリドの同時代ロシアの状況をより広く検討することとした。具体的な研究方法は以下の通りである。

- ① 所属研究機関の早稲田大学演劇博物館の資料の調査・分析
- ② 早稲田大学戸山図書館所有のメイエルホリド劇場アーカイブマイクロ資料の調査・分析
- ③ 同じく早稲田大学戸山図書館所蔵の 20 世紀ロシア芸術関連逐次刊行物逐次刊行物アーカイブマイクロ資料の調査と分析
- ④ モスクワとサンクトペテルブルグの国立図書館、演劇関連図書館およびアーカイブにおける調査、資料収集と集めた資料の分析
- ⑤ 国際学会等における英語・ロシア語の発表により、世界の研究者との意見交換の機会を持つ
- ⑥ 論文執筆・翻訳作成

4. 研究成果

本研究では、2011 年 8 月ニューヨーク、2011 年 11 月モスクワ、2012 年 8-9 月モスクワ・ヤースナヤ・ポリャーナ・ペテルブルグの三度の海外出張を行い、学会に参加するとともに、メイエルホリドおよびアヴァンギャルド期の演劇と関連事象、それに日露演劇交流について図書館やアーカイブで調査を行い、かなりの分量の資料を集めることができた。それらを用いて、学会発表や論文として成果にすることができた。

研究方法であげた(1)のテーマ系に関しては、特に日露演劇交流と演出の問題に焦点を当てて研究を進めた。

早稲田大学演劇映像学連携研究拠点公募研究「近代日露演劇交流とその文脈」を立ち上げ、演劇博物館の資料「1928 年歌舞伎ソ連公演貼込み帳」所収のロシア語新聞・雑誌記事の翻訳、研究を進めた。その成果の一部を論文 *Первые гастроли театра Кабуки в СССР (по материалам из коллекции Театрального музея им. Цубоути)* にまとめて、モスクワ、ロシア国立芸術図書館が発行する論集 *История театра в архивных и книжных собраниях.* に投稿した。

また、20 世紀前半のロシアにおける演劇における越境と異文化接触のテーマを拡大し、日本統治下満洲における演劇・映画状況に冠する調査を行い、鈴木直子(中国演劇)、上田学(日本映画)とともに第七回国際ミホエルス学会において発表 *Театральное и кинематографическое искусства* **В**

Маньчжоу-го в 1930-1940-х годах. を行い、論集 Национальный театр в контексте многонациональной культуры に同名の論考を投稿した。さらに、この研究の演劇の部分を発展させた論考「満洲における中国・日本・ロシアの演劇活動」を「アート・タイムズ」誌に投稿した。

(2) のテーマ系に関しては、現代ロシア演劇におけるメイエルホリドの方法の有効性の実験を考える発表「Tradition and Innovation: Meyerhold's Biomechanics in Contemporary Russian Alternative Theatre.」を国際演劇学会 IFTR の大阪大会で英語で行なった。また、メイエルホリド劇場で美術史を教えていたニコライ・タラプーキンに関して、ロシア文学学会全国大会で「絵画から演劇へ —ニコライ・タラプーキンのメイエルホリド論」として発表した。これらのテーマはまだ調査・研究の余地があることが明らかになったため、今後の研究課題としている。

さらに、シギズムンド・クルジジャンフスキのきわめて演劇的な小説『瞳孔の中』、またパフォーマンスと見世物を主題とした『噛めない肘』を含む5本の作品からなる中・短篇集を、ロシア文学研究者の秋草俊一郎氏と翻訳。解説「脳内実験から小説へ —シギズムンド・クルジジャンフスキの作品と生涯」でもこの作家の作品の演劇性とメイエルホリドとの関係を取り上げ、問題提起をした。この問題は2009-2010年度文部科学省科学研究費補助金(若手B)「シギズムンド・クルジジャンフスキと演劇：ロシア・アヴァンギャルドと世界劇場」において研究・考察を開始、これを発展させたものである。また、クルジジャンフスキの言語が持つ演劇性については、「Как сохранить языковой гротеск в переводе? Японский перевод новелл С. Д. Кржижановского. VII Международный семинар переводчиков русской литературы.」と題した発表をロシア、ヤースナヤ・ポリャーナのトルストイの家博物館における国際ロシア文学通訳者セミナーにおいておこなった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

上田洋子、鈴木直子、満洲における中国・日本・ロシアの演劇活動、アート・タイムズ、査読なし、No.9、2012、pp. 5-10

[学会発表] (計4件)

(1) Йоко Уэда. Как сохранить языковой гротеск в переводе? Японский перевод

новелл С. Д. Кржижановского. VII Международный семинар переводчиков русской литературы. 28. 08. 2012. Музей-усадьба Л. Н. Толстого «Ясная Поляна». Ясная Поляна. Россия.

(2) Йоко Уэда, Наoko Судзуки, Манабу Уэда. Театральное и кинематографическое искусство в Маньчжоу-го в 1930-1940-х годах. Седьмые международные Михоэлсовские чтения. 24.11. 2011. РГБИ. Москва. Россия.

(3) 上田洋子「絵画から演劇へ —ニコライ・タラプーキンのメイエルホリド論」第60回日本ロシア文学学会全国大会、2011年10月、於慶応義塾大学

(4) Yoko Ueda. Tradition and Innovation: Meyerhold's Biomechanics in Contemporary Russian Alternative Theatre. FIRT/IFTR International Federation for Theatre Research Annual Conference Osaka 2011. 2011. 8. 11. Osaka University.

[図書] (計4件)

(1) Йоко Уэда, Наoko Судзуки, Манабу Уэда. Театральное и кинематографическое искусство в Маньчжоу-го в 1930-1940-х годах. // Национальный театр в контексте многонациональной культуры: седьмые международные Михоэлсовские чтения. М.: Три квадрата. 2012. С. 256-269.

(2) シギズムンド・クルジジャンフスキ (上田洋子、秋草俊一郎訳) 松籟社、瞳孔の中 クルジジャンフスキ作品集、2012、pp.25-142、177-195、197-217

(3) 野中進、三浦清春他編、東洋書店、ロシア文化の方舟—ソ連崩壊から二〇年、(上田洋子、実験演劇の伝統と更新)、2011、204-214

(4) Йоко Уэда. Первые гастроли театра Кабуки в СССР (по материалам из коллекции Театрального музея им. Цубоути) // История театра в архивных и книжных собраниях. М.: Три квадрата. 2011. С. 200-210.

[産業財産権]

○出願状況 (計 0件)

名称 :

発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

上田 洋子 (UEDA YOKO)
早稲田大学・演劇博物館・招聘研究員
研究者番号：40505400

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：